



三條北ロータリークラブ週報

人類が 私たちの仕事

例会日
2002. 6. 16
累計 No 758
当年 No 49

国際ロータリー会長 リチャード D. キング 第2560地区ガバナー 野沢謹五
ホームページ <http://www2.next.ne.jp/2560nzwa>

会長/木 宮 隆
幹事/山 中 正
SAA/長谷川 恵慈

例会日/火曜日 12:30~13:30
例会場/三條ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114
事務局/三條市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160 FAX33-8972

メールアドレス north@sanjo-nrc.org ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org>

行 事: 社会奉仕事業「歴史と自然の道ウォークラリー」

出 席: 本日の出席 57名中 42名(内記帳10名)

先々週の出席率 57名中 42名 73.68%(前年同期79.66%)

先週のメイクアップ: 6月15日 地区役員会出席(新潟) 中條耕二さん、梨本清一さん

ピジター: 加茂RCより 斎藤実さん

三條RCより 細井増雄さん、長谷川有美さん

三條南RCより(敬称略) 大久保秀男、佐藤嘉男、吉井正孝、佐々謹弥

馬場信彦、天田 匡、長谷川晴生、飯山勝義

広岡豊樹、丸田肇一、草野恒輔

会長挨拶: なし

幹事報告: なし

ニコニコボックス: 16日現在累計 1,054,000円

コメントなし

社会奉仕事業: 社会奉仕大委員長 梨本 清一

三條市の中心部を流れる五十嵐川は、郷土三條にとって「母なる川」であります。ところでこの母なる川も明治以前は嵐南地区にとっては左岸に堤防がなく頻りに洪水をもたらす暴れ川でありました。

この左岸築堤の悲願を自らの生涯と全財産を費やして完成し、嵐南地区を水害の苦しみから救ってくれたのが松尾与十郎であります。

この度、たまたま「与十郎探検隊」の人達が与十郎の功績を偲びながら築堤の足跡をたどり、地域の歴史や自然の美しさ、そして郷土愛を育もうという構想と私共三條北ロータリークラブが、環境保全、緑化運動、そして子供達の健全育成の目的が合致致しまして「歴史と自然の道ウォークラ

リー」の実現となったわけであります。

初の試みであります、次代を担う子供達の歴史教育、環境教育、情操教育そして、ふるさと三条を愛する心を育んでくれることでしょう。関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。

会員の声：堀川 正幸

近年環境問題が大きなテーマとなっておりますが、人間が生きてゆくことが環境破壊に繋がるといふ困った事態になっています。廃棄物を大別すると生活廃棄物（生ゴミ、可燃ゴミ、不燃ゴミ、粗大ゴミ等々）産業廃棄物（安定型埋め立てゴミ、管理型埋め立てゴミ、特殊管理型埋め立てゴミ、焼却ゴミ、特殊管理焼却ゴミ、その他）放射性廃棄物、その他等々多種の廃棄物が発生しています。

自然環境を維持しながら発展してゆくことが理想であります、その為には自然の浄化能力を無視した生産活動は徐々に減らしてゆく必要が有ると思います。

自然との共生を考えれば“物”をもっと大切に長く使えるように造ることや、簡単にリサイクルできるように造ることが必要ではないでしょうか？

同時に人の生き方も企業の生き方も同じように自然から学ぶことが大切ではないかと思います。

“自然”は“発展と調和”を実現している、まさに生きた見本そのものなのです。

四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- | | |
|------------|------------------|
| I 真実かどうか | III 好意と友情を深めるか |
| II みんなに公平か | IV みんなのためになるかどうか |

6月25日例会： 会長幹事AG慰労会 18:30～ 三条ロイヤルホテル

7月2日例会： 今年度方針発表

7月9日例会： 「識字率向上月間」卓話「タイ山岳少数民族の識字に関する問題点」
タイ山岳少数民族支援の会 代表 高橋素三子様

7月16日例会： 通常例会

7月23日例会： 通常例会

